



なんぶ

議会だより

第72号

令和4年6月議会
発行/令和4年8月



南さいはく拠点施設
「かまくら山荘」オープン

「七夕まつり」

- 6月議会審議結果 …2～3
- 鳥取県町村議会議長会表彰 …15
- 一般質問 ……………4～14
- 探検隊NO.10 ……………16
- 一般質問のQRコード……15
について

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



陳情

陳情第1号 地方財政の充実・強化を求める陳情

全会一致で採択

陳情第2号 消費税インボス制度の実施中止を求める陳情

賛成少数で不採択

陳情第3号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情

全会一致で採択

陳情第4号 西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設基本構想の見直しを求める陳情

賛成少数で不採択

議員名(議席番号順)	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
陳情 第2号・4号	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

陳情第2号 討論

討論

反対 きちっと消費税を計算し、消費税をもらい払っていくシステムを構築することが中小事業者の信頼につながる。預かった税金を消費税部分で差し引いて支払っていく。それが国民の納税義務である。

賛成 少額の売り上げしかない事業者が大きな影響を受ける。全国約500万社の免税事業者、1,577万のフリーランス、70万人のシルバー人材センターで働く方々に、消費税が10%に上がることが問題である。

陳情第4号 討論

討論

反対 基本構想の中で新プラ法の施行にあわせて検討がなされており、基本構想の見直しをおこなわなくても、実施計画で見直すべきである。

賛成 新プラ法についてもっと理解を深めてから慎重にやるべき。ごみ発電計画をもっと議論すべき。実施計画での見直しでは、土地取得計画を立てることができない。

発議案

発議案第5号 地方行政調査特別委員会の設置について

発議案第6号 地方財政の充実・強化を求める意見書

発議案第7号 少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書

発議案第8号 軍事拡大をやめ、平和とくらしを守る外交を求める意見書

全会一致で採択

賛成少数で不採択

議員名(議席番号順)	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
発議案 第8号	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○

発議案第8号 討論

討論

反対 安全保障に関する有事が発生したとき、想定外では済まない。周辺の環境、ロシア・中国・北朝鮮がかつてない緊張状態にある。過去とは全く異なった東アジア情勢の中で日本が備えるべきは強力な抑止力である。主権国家として安全保障に1ミリも隙を作ることはいできない。

賛成 抑止力としての攻撃能力がないと外交ができないのは、東西冷戦時代へ逆行である。GDP費2%以上の軍事費は、今でも世界第5位の軍事力を誇る日本はとんでもない防衛力となる。世界平和のためには、武力に頼らない紛争の平和解決に向かって、日本がリーダーシップをとることを望む。

令和4年6月定例議会は6月10日(金)から21日(火)までの会期で開催され、一般会計補正予算及び水道事業会計補正予算と条例の一部改正及び条例の廃止の4議案、4件の陳情、4件の発議案が審議された。また、1件の報告、令和3年度一般会計ほか5件の専決処分案が承認された。

令和4年度南部町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に3億150万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ77億6450万円とする。未だ収束の見えないコロナ禍において、原油価格や物価高騰に伴い、町民の生活が困難になる恐れから、様々な経済支援対策が盛り込まれた補正予算であった。

全会一致で可決

主な事業

上水道事業 2887万円

一般用、営業用及び公共用の基本料金3期分(6ヵ月分)について全額免除する。



住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金支援事業 3647万円

令和4年度住民税非課税世帯の方で、令和3年度世帯給付金を申請されていない方に通知し、給付金の受給を促す。(一世帯 10万円)

住民税非課税世帯に対する光熱費助成制度 758万円

令和4年度住民税非課税世帯の世帯主の方へ光熱費助成金を支給する。(一世帯 7千円)

賄い材料購入費(町内小・中学校) 525万円

物価高騰に伴い、賄い材料費の高騰が想定される。保護者負担を増額しないよう、賄い材料費を増額し、町が負担する。

買い物支援事業 250万円

中山間地域での移動販売車、高島屋ローズちゃん号が2月で撤退となった。新しくマックスパリュが、新規で参入することとなり、県補助金を利用して支援する。



買い物支援試験運行

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 2446万円

新型コロナワクチン4回目の追加接種を行う。接種率(4.18現在)

3回目接種	接種人数	接種率
12~64歳	3,371	59.4%
65歳~	3,433	86.8%
全体	6,804	70.7%

条例の一部改正・廃止

●地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均等課税に関する条例の一部改正について

●法勝寺大豆加工所条例の廃止について

町営の法勝寺大豆加工所は廃止され併せて条例も廃止する。

全会一致で可決



法勝寺温泉内、大豆加工施設設置

今年の梅雨は名ばかりのうだるような暑さを残し、最短の短かさであけてしまいました。生活用水、農業用水等々の水不足が懸念されますが、大事に至らない事を祈るばかりです。

さて、専決処分や補正予算等を審議する令和4年6月議会定例会が6月10日から21日までの12日間にわたり開会されました。

執行部提案12議案中8議案が町長がすでに決済済みである専決処分の承認事案で、全議案とも原案の通り可決しました。その他、陳情4件、議員発議による議案4件の審査を行い、審査結果は巻頭ページのとおりであります。

収まるどころかますます感染が拡大している新型コロナウイルス感染症ですが、今議会にもワクチン接種に要する費用や関連した原油・物価高騰対策として上水道基本料金の全世帯6か月分免除、生活困窮世帯や畜産農家への支援などの補正予算措置が打ち出されました。早急かつ漏れのない施策実行が望まれます。

本会議を終え、久しぶりに大津市での議員研修に参加してきました。講義内容は①ロシアのウクライナ侵攻を受けた日本の安全保障、②資源としての外国人労働者受け入れと地域づくり、③人間中心のデジタル社会の構築、④地球温暖化と二酸化炭素排出削減、でありました。4講義全てが、全世界的な問題でありながらも、南部町政にも深く関連し、予算等が提案される問題でもあります。議員として、議会として正しい判断を行うためにも、これらの分野に対する幅広い知識や情報を得る努力が求められていると強く感じられた研修でありました。

あなたの声を
町政に聞かせよう！



【質問の通告】
一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に聞きます。

令和4年6月定例議会一般質問ダイジェスト

議員名	発言時間	質問事項
1 白川 立真	30	1 地域福祉推進計画
2 埴田 光雄	25	1 コロナ禍での教育現場の状況
3 荊尾 芳之	30	1 農業振興・農家支援
		2 スポーツ振興
4 三嶋 義文	20	1 ふれあいバス
5 真壁 容子	30	1 公立保育園の維持
		2 一般ごみの広域化の見直し
6 長束 博信	30	1 脱炭素社会
		2 里地・里山集落
7 仲田 司朗	30	1 歯科検診車
		2 母塚山の観光開発
8 加藤 学	30	1 会計年度任用職員
		2 学校給食食材会議
9 亀尾 共三	30	1 子育て世帯への支援
10 細田 元教	30	1 地域包括ケアシステム
		2 デジタル施策

地域福祉推進計画

Q 地域振興協議会に何を求めるのか

A 福祉推進事務局の設置を



白川立真 議員



福祉推進計画「の策定に至った。

白川 重点取組のなかで、「地域振興協議会の福祉の強化」とあるが、地域振興協議会にどんなことを求めていくのか。

町長 地域振興協議会を地域福祉の単一位と捉え、住民や事業者、社会福祉協議会、行政などみなで協力し、それぞれの地域課題の発見、相談や見守り、生活支援といった支え合い活動を展開し充実していく事を目指している。

白川 この計画が出来た際、全国に誇れる素晴らしい計画になったと聞いている。令和3年度から実施されると思っていたが、いまだに実施されていないのはなぜか。

その設立から15年が経過する中で、高齢化や単身世帯の増加、また社会的孤立などの影響により様々な課題が絡み合い複雑化してきている。このような社会構造の変化を背景にして「地域

町長 それぞれの地域のデータを集めたが、そのデータをもとにどのように活用していくかという話し合いができなかった。

今年度は、南さいはく地域振興協議会に福祉推進事務局が設置されたことから、計画の実現に向け取り組みをすすめており、そのほかの協議会にも計画の推進と福祉推進事務局の設置を呼びかけているところだ。

白川 高齢化率50%を超える日野町で地域の人々がお互いに支え合う取り組みが展開されている。私も勉強のためボランティアとして参加している。そこでは、子どもたちや保護者、障がいを持っている方など

様々な団体が、誕生日を迎えた高齢者へお祝いメッセージや手作りプレゼントを届けている。届ける際、困りごとなどの相談にのり行政や社協につなげていく。一つの方法として参考にしたい。

町長 参考にしたい。地域福祉推進計画を進める上で、行政主導型にならないように職員も悩んでいると思う。

人々がお互いにつながりあるということ、その人の幸福度にも大きく影響すると思う。一人一人の暮らしの中で、ゆるやかなそして必要になった時、頼れる人がいるという「つながり」をしっかりとつづけていけるような行政をめざしたい。



一般質問

コロナ禍での教育現場の状況 Q 今後の教育方針を問う A 学びをより充実、発展させる



増田光雄 議員



増田 GIGAスクールの現状を問う。

教育長 令和3年度はまず使ってみることからスタートした。これまで書籍や図鑑を使っていた調べ学習では、タブレット端末も活用しインターネット上でのデータや動画等これまで以上に多くの情報に触れ、それらを取捨選択し、必要な情報をタブレット上でまとめることに取り組んでいる。

増田 コロナ禍での子どもたちの影響や変化を問う。

教育長 令和2年度は一斉臨時休業や感染対策、活動制限に不慣れなことから、不安や落ち着きのなさが見られた子どもたちもいた。しかし、現在では制限のある中ではあるが、やり方や時間などの工夫を重ね落ち着いた学校生活を送っている。



社会の授業風景

増田 マスクの考えを問う。

教育長 学校では現在、熱中症対策の観点から、マスク着用の場面に於いて、児童生徒の体調に配慮しつつ見直しを図っている。登下校時や体育、部活動での運動や休憩時間での外遊びの時などはマスクを外しても良い時間として、熱中症対策を第一に考えている。

増田 給食費値上げの動きについての考えを問う。

教育長 令和4年度の給食費単価は昨年と比べて3円の値上げとなったが、値上げ部分は町補助とし保護者負担は値



音楽の授業風景

上げしていない。今後物価が高騰し、一食当たりの単価を上げざるを得ない状況でも、今年度の保護者負担を上げる事が無いように町とも協議する。

増田 コロナ明けに向けての教育方針を問う。

教育長 安心安全な感染症対策を講じつつ、制限を緩和しながら新しい日常での活動再開に取り組む。

本町教育基盤である、コミュニティスクールを学校教育と社会教育の接続点として、地域と協働したまち未来科の学びをより充実、発展させる必要があると考える。

農業振興・農家支援

Q 汗かく農業者支援事業の効果は A 小規模農家の生産性の向上を図る



荊尾芳之 議員



荊尾 令和3年度の米価の大幅な下落に対して、本町は農家支援策として、汗かく農業者支援事業を令和4年度は特別に補助率のアップ等で対応している。この申請状況、事業の効果を問う。

町長 令和4年度は、自然災害やコロナ禍の影響により農産物の売上減少、米価下落等の影響を考慮し、令和4年度に限り補助率を3分の1から2分の1に引き上げた。更に、補助対象に水稲の作付農家にも拡充し、幅広く活用できる補助制度とした。小規模農家の生産性の向上を図り、引き続き農家経営を維持することを目的に事業実施をする。

申請状況は、5月末で173件、交付決定額は2095万3千円を受け付けている。本年拡充した機械整備に対する補助額が、例年より10倍程度の予算で、申請状況からも大きな効果につながっている。

荊尾 汗かく農業者支援事業の本来的取組状況はどうか問う。

町長 この補助金は、町内の小規模な農業者や農業団体が農業所得の向上を目的に新規作物の作付や販売に必要な費用、農業を効果的に行うための資格取得や農地の改良に必要な費用を補助するものだ。過去5年間、国や県の補助事業では対象とならない小規模な農家への有益な支援策である。

荊尾 水田活用の直接支払交付金の令和4年度の国の示

スポーツ振興

Q 本町のスポーツツーリズムは A ランナーズヴェイレッジ構想が基本

した変更点について、我々が現在実施していることと大きな乖離があると思うが、町長の考えを問う。

町長 今回の国の変更点、交付対象水田に関し、現行の水張が出来ない農地のルールが厳格化され、令和8年度までに一度も水張が出来ない農地は交

付対象水田としない方針が明記された。本町への影響を懸念しているため、実情を訴え、農家所得の安定に即した制度が講じられるよう国に強く要望する。



管理を待つ田んぼ

荊尾 スポーツ振興、生涯スポーツについて、行政のスポーツへの関わり方について伺う。スポーツは、健康維持、体力づくりに効果的だ。そしてスポーツ愛好家を呼び込めば観光、消費行動に好影響を与える。そこで、町長のスポーツツーリズムへの考え方を問う。

町長 本町のスポーツツーリズムは、人口900万と言われるランニング愛好家をターゲットに、食・宿泊・体験を盛り込んだランナーズヴェイレッジ

構想でスタートした。美しい里地・里山をスポーツを楽しむために訪問し、農泊等のグリーンツーリズムを組合せ滞在型の観光を進める。春の桜、秋の彼岸花など季節ごとの魅力を、サイクリング・ウォーキング・ランニング等々のスポーツイベントのきっかけとすることを考えている。



サイクルスポーツ

ふれあいバス

Q 運行形態変更の現状と今後の進め方は

A 今秋からタクシー型の運行を考えている



三鴨義文 議員



三鴨 本町のふれあいバスは、令和3年度から今までのような日の丸バスによる定時定路線方式から予約制によるデマンド型に変更になった。

変更後1年が経過したが、現在の利用状況はどう変わったか伺う。

町長 運行変更した令和3年度の一般の利用者数は6341人で変更前と比べると37.6%の減少となった。一日当たりの利用者数は26.3人で15.9人の減少となっている。

三鴨 利用者が激減しているのは、現在の運行方式では利用しにくくなったからだと思うが、利用者の声は届いているか。

町長 デマンド型に変更されてから、どうやって乗ったらいのか。電話をかけるのがおっくうだ。

丸合の待ち時間が短い。運行本数が少ない。どの便を利用したらいいのかわからない。などで意見を頂いている。

三鴨 私にも時刻表がわかりにくい。待ち時間が非常に長い。この意見を頂いている。こうした意見にどう対応するか。

町長 利用者の皆様の意見とおり、令和3年度の利用者が激減している原因として、現在の方式では使い便利が非常に悪いと実感している。そこで、今年度予算に計上しているA-1を使ったデマンド方式を取り入れたい。

三鴨 私も試しに一度電話をしてみたところオペレーターさんの説明や対応は非常に良くてまた電話しようと思うが、次の便までの待ち時間が長すぎる。乗り継ぎや時刻表の見かたがわかりづらい。

先ほど新しい方式を取り入れたいと答弁があったが、どのような方式か、もう少し詳しく説明して欲しい。

町長 今考えているのは、利用者の皆さんの意見を反映して、身近で使い便利のいいふれあいバスにするために、今ある116カ所のバス停を350カ所程度増やして500カ所にして、家に近いところまで迎えに行けるよう変更すること。

わかりづらい時刻表の時間帯を無くしてしまつて利用者の皆さんが依頼の電話をかければ直ぐに対応して迎えに行く。そうしたタクシー型の新たなシステムに向かつて今年の秋から運行していきたいと考えている。



ふれあいバス

三鴨 タクシー型の新方式を考えているとの事だが、今のような次の便は2時間後のような待ち時間が無くなって、一人でも依頼の電話をすれば迎えに来てもらえるのか。

町長 考え方としては、タクシーと同じような形で電話をしたら来てくれる。それをA-1が調整するというような形式で予算もお願いしている。

町としては一人でも電話をしたら、すぐ来てもらえるようなそういった運行をやっていきたい。

公立保育園の維持

Q 町の責任で最善優良な保育の実現を

A 「将来的に民営も仕方ない」との結果だ



真壁容子 議員



い。90人減らすといいながら、待機児童が出るというのはどうしようか。

町長 待機の件だが、他園でも対応は可能だが、現状として保育士の確保ということを答弁している。それが解消できれば十分対応できると考えている

背景 町が進めようとしている町立保育園の統合、定数削減、民間移管について、先の3月議会で町長は再審議と再分析に触れているが、これらについて何の説明もなく、用地選定に向けて動いている。なし崩しの感が否めない。特に民間移管については、これまでの町の計画にも何ら触れられていない。このままでは町立保育園がなくなってしまう。あまりにも説明不足だ。説明を求め、改めて町立保育園の維持を求める。

真壁 (定数について令和6年度新築時) 町長のいう「町の保育園でみたい」ということからみれば、計画では(未満児が)14人待機せざるを得ない

真壁 すべての児童が公立保育所に入れるよう設定すべきではないか。

町長 定数削減が主眼ではなく、皆様に待機児童のない安心して子育てを任せていただける施設の量を確保していきたい。

真壁 民設の場合の資料(財政)の再分析はどうだったか。

町長 民設民営の場合のほうが交付税算定では7000万円優位であるとの結論を得た。

真壁 審議会では1億円くらいの差との説明だ。保育士の確保のため町の支援が必要になるとあった。保育士の給与差がまだ3万5万円ある。それはどうなるのか。

町長 人件費をどうプラスしていくのかとどうよなことは検討していない。

真壁 児童福祉法からみても、子どもたちに最善優良な環境を整えることは、市町村の責任だ。財政一番ではなく、子どもにとって、保護者にとってどういう保育がいいのかを一番

に持ってくるべきだ。財政負担が楽になる、こういう根拠での民間移管は全く町として考えられない。考え直すわけにはいかないのか。

町長 保育士の確保など、もろもろの問題を考えた場合にどうすべきか審議会に諮問し、民営でも将来的に仕方ないのではないかという結果をいただいている。

真壁 仕方がないだろうとする内容ではない。なぜほかにことにお金を使いながら、保育園になったら7000万円の金を持ち出し、仕方がないといつて公立保育園をなくそうとするのか。無駄を削るならほかにするところがある。それがなぜ保育園なのか、もっと真剣に考えるべきだ。

町長 私は仕方なしに保育園を民営化するのではないということを申し上げておく。

脱炭素社会

Q 取組みをジゲ起こし・まち起こし

A 地域特性に応じた道筋付け取り組みたい



長束博信 議員



長束 脱炭素社会に向けての計画はあるか。内容と目標としてスケジュールを伺う。

町長 計画は令和3年3月〜令和12年度(2030)迄と

し、令和7年度に中間見直しをする。当町の公共施設の二酸化炭素排出量は西伯病院、総合福祉センターしあわせの2施設で50%以上占めている。各施設の省エネ設備更新、省エネ取組み、再生エネルギー電源拡充を進める。また、年次的にLED照明に更新、空調機器更新で令和元年度対比35・2%削減を目標とする。

長束 町民に対してどのような取組みの広報を考えているのか。

町長 ソフト面でエコ活動、環境に配慮した製品の購入、エネルギー消費。ハード面では太陽光パネル設置による再生可能エネルギー導入、LED照明切り替え、省エネ設備導入の案内をしている。

長束 脱炭素取組みの地域づくりを地方創生、なんぶ創生と絡めてジゲ起こし・まち起こしとして取り組む考えはないか。

町長 まきストープ設置費用に補助しているが、まきの調達に苦勞する方が多い。集落や地域でまきづくりの取組みができればハードルが下がりストープ購入につながる。

国の脱炭素先行地域採択を目指し、地域特性に応じた道筋をつけ、地域課題の解決、暮らしの質向上を実現し脱炭素に向かう取組みを進めたいと考えている。

里地・里山集落

Q 里地里山を守り伝える方策は

A 若者流出防止と人材確保施策の環境整備

長束 人口予測に変化はあるか。集落機能としての戸数や人数をどう考えているか。

町長 平成28年に策定した人口推計通り1万312人に対し、様々な人口減少対策を講じたが1万323人で厳しい結果だ。集落機能は、農業用水、冠婚葬祭、祭り、集落維持管理など共同作業が必要。世帯が減り集落規模が小さくなり減少が進むほど維持することが困難になると考えている。

長束 総合計画でめざす「里地里山を守り伝えるなんぶ暮らし」で減少に歯止めをかける方策、支援はあるのか伺う。

町長 集落の状況については地域振興協議会を通じて把握に努めたい。把握を深める為に集落円卓会議も検討したい。

課題解決の取組みとして、空き家の利活用、宅地造成の事業を引き続き推進する。課題解決には、若者の流出防止と人材確保施策が重要。進学で町を離れる若者には、南部町で活躍して貰えるよう、就農、就職、起業の支援などによりUターンの環境整備も必要と考えている。人材確保については、関係人口の取組みなどを民間事業者と連携して進めている。

長束 豊かな里地里山の景観をどのように次世代につないでいくのか伺う。

町長 第二次総合計画に沿って、魅力ある農林業と商工業の振興の取組みで農地、山林の維持、保全につなげていきたい。移住定住、交流、観光の推進の取組みで地域資源を生かした魅力を向上させ来町者の増加と地域経済の活性化を図っていく。

歯科検診車

Q もっと有効活用ができないか

A 後期高齢者歯科検診事業などに参画したい



仲田司朗 議員



仲田 歯科検診車を西伯病院で購入され、会見地区の歯科検診や山間部に出かけて歯科診療を行うということ導入されたが、活用されていない。歯科検診車の今までの実績は。

病院事業管理者 会見地区での巡回診療は、毎週木曜日午前、おおむね9時30分から11時30分までの2時間、令和2年3月から開始した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、4回実施し、4人の患者を診療したところで中断した。令和3年5月に再開し9月までの間に計9回実施し13人の患者を診療した。

仲田 現状と課題解決について。

病院事業管理者 平成30年、天万にあった

会見地区唯一の歯科診療所の閉鎖、ということで開催地区の皆さんの診療機会を確保したいという熱い思いが先に立った。改めて振興協議会等を通じて、今後の事業のあり方を検討したい。

仲田 今後どうしていくのか。

病院事業管理者 6月7日に閣議決定さ

れた骨太方針に、国民皆歯科検診の具体的な検討という項目が盛り込まれた。継続的な歯科検診は重要であり、西伯病院としては引き続き後期高齢者歯科検診事業などに参画しながら、町の歯科口腔保健事業にも歯科検診車が活用できないか調整を図りながら取り組んでいきたい。

母塚山の観光開発

Q 定点カメラの設置を

A 費用の面やその効果等を含め検討したい

仲田 母塚山は、大山や島根半島を見渡す風光明媚な山

として、町内外から写真愛好家が日参されていて、観光スポットになっている。この母塚山をどのように観光事業に結びつけようとしているのか。

現在、林道が昨年の梅雨前線豪雨により通行止めになっているが、開通の見込みがあるのか。

町長 林道母塚山の災害復旧の状況ですが、崩落箇所2カ所のうち1カ所は復旧したが、もう1カ所は現在工事中で9月末に完成する予定である。今後の林道整備について、開設から年数が経過しており、路面等の傷みはあるが、引き続き点検等、維持、管理を実施しながら通行の安全確保に努めたい。

仲田 母塚山を観光地として整備する考えはないか。

町長 母塚山は展望スポットとして注目を受けており、大山の山頂から朝日が昇るダイヤモンド大山を撮影するため、多くの写真家が訪れている。広くPRしていないが、米子城に負けないダイヤモンド大山が見られるスポットとして、開通後はPRしていきたい。

仲田 山頂に定点カメラを設置して、南部町から見える大山や島根半島を映しながら、町のすばらしさを町内外に発信できるので設置はどうか。

町長 定点カメラの設置については、費用の面やその効果、どのような媒体で発信するのか検討しなければならぬ。今後設置に向けて可能かどうか実施について検討したい。

会計年度任用職員

Q 図書館司書は全員が会計年度任用職員なのは何故

A 運営上、現在までの形



加藤 学 議員



背景 2020年4月から会計年度任用職員制度が導入された。これは非正規の公務員の1年雇用を正当化することになり、正規雇用への道を閉ざすことになりかねない。

加藤 会計年度任用職員と正規職員の職務の違いについて問う。

町長 会計年度任用職員の業務内容や責任の程度は正規職員と異なる設定となっている。南部町では一般事務の会計年度任用職員の場合、業務は正規職員の事務補助や各申請の受付などが中心となっている。

加藤 会計年度任用職員の任期が1年となる根拠は何か。
町長 地方公務員法に定められており、1会計年度で任用することになっている。

加藤 南部町の正職員と会計年度任用職員について問う。
町長 正規職員129人、会計年度任用職員はフルタイム56人、パートタイム121人である。

加藤 会計年度任用職員の制度について説明を求めよう。
町長 地方公務員法の規定に基づき任用される非常勤職員であり、フルタイムとパートタイムに分類される。

加藤 会計年度任用職員の給料は何年目まで上がるのか。
町長 5年目までは上がる。

加藤 南部町の図書館の司書は全員が会計年度任用職員か。
町長 5年目までは上がる。

だ。職務の内容は図書館司書の仕事をしている。図書館司書の補助の仕事をしている訳ではない。なのに全員が会計年度任用職員である。先程の説明と矛盾するのではないか。

学校給食食材会議

Q 売上減少の要因はゆづりくんと西伯病院か

A 責任をもって西伯病院と話しをする

背景 学校給食食材会議への野菜の出荷が減っており、売上も減っている。南部町内で地産地消を担う組織が危機的状況にあるのではないか。

町長 図書館には管理監督の職員が1名おり、司書が会計年度任用職員という形態を取ってきた。運営上、現在までこの形で続いてきた。

加藤 西伯病院とゆづりくんの出荷が減っているの一番の原因ではないか。
町長 西伯病院の出荷が減っている件に関しては現場の方と調整したい。食材会議と西伯病院との間で食材会議の野菜を使うことを定めた契約書が仕様書を交わしている。責任をもって西伯病院と話しをする。

加藤 学校給食食材会議とはどんな組織か。
町長 正式名称は食材供給連絡協議会学校給食部会。毎月、学校の栄養士と生産者(会員)で食材提供の打合せをしている。

加藤 何故出荷が減っているのか。
町長 会員の高齢化に伴い会員数が減っているのが原因。

加藤 何故出荷が減っているのか。
町長 会員の高齢化に伴い会員数が減っているのが原因。

子育て世帯への支援

Q 学校給食費はじめ保護者の負担の軽減を

A 施策の優先度と財源を基にご理解を



亀尾共三 議員



背景 新型コロナウイルスの拡大は減少の傾向と報道されているが、感染はしばらく続くことが予想される。そのために、経済活動も依然として一部の業界を除き停滞の状況と言われている。

亀尾 鳥取県内で学校給食の無償化を実施している自治体は五つと聞いている。本町の実施が出来ない理由は何か。
教育長 学校給食における経費負担は、学校給食法では運営に要する経費以外の学校

給食に要する経費は、受ける児童又は生徒の保護者の負担と定められている。原材料に係る経費のみ保護者の負担を頂いている。令和4年度の就学援助制度に申請をされている65世帯を支援が必要な家庭と把握し、給食費の実費を学期ごとに支給している。一律の無償化でなく、就学援助制度を案内し支援が必要な家庭に支援をする。

亀尾 小学校教材費等を3年生まで無料となっている。6年生まで無料の実施を求めよう。
教育長 小学校教材の補助について、1年生から3年生までを対象にした補助は、平成26年度より子育て支援対策の一環として、子育て世帯中でもより若い年齢層の保護者負担の軽減策として実施した。学年の拡大は、町の子育て支援施策全

亀尾 中学校の雨天時、保護者家庭の送迎に対して補助を求る。
教育長 雨の日は、南部中学校73人中19人が家族で送迎。法中は約4割が家族で送迎。冬季に限り通学基準距離を基にバス対策対象地域を設けている。基準距離に満たない地域のバス利用には補助の対象としていない。

体の中での優先度や継続性を吟味しつつ、財政状況を見極めながら判断すべきと考えて現状の対応を継続したいと考えている。

亀尾 学年が進めば、スポーツとか負担も増えると思う。本来なら義務教育全般にお願いしたい。6年生までは実施すべきと思う。小学生全員対象なら金額はいくらかかるか。
教育長 概算で年額500万円、600万円くらいだ。

亀尾 高校、大学、専門学校など、奨学金を給付型の、無条件で支給する制度の創設を求めよう。
教育長 経済的理由によって就学を保障する仕組みが必要と認識しており、無条件で支給する制度の創設は考えていない。

亀尾 将来の社会を担う子どもたちに、年額500万円から600万円のお金を工夫して行政が子どもたちに使うことを主張しておく。

鳥取県町村議会議長会表彰

町村議会議員として13年以上在職し、南部町に功労された板井隆議員



板井隆議員(左) 景山議長(右)

表彰は2月17日ですが、コロナのため定期総会が3月30日に延期、表彰者の参加もなくなったので景山議長が受け取って帰られました。

一般質問

地域包括ケアシステム Q 西伯病院の役割は A 安心して暮らせる拠点になる



細田 南部町と西伯病院が中心となって地域ケアシステムを行う場合、何を最初にすべきか。

病院事業管理者 地域住民が西伯病院に

対して何を望んでいるかを把握してそれに応える仕組みを考える必要がある。

細田 西伯病院を核としたケアシステムは何ができるのか。

病院事業管理者 「住民の暮らしを支える」

を基本に考えている。病院なので当然、医療を提供することが中心となる。そこには検診や保健が付随する。

細田 西伯病院開設者として西伯病院に何を望むのか。

町長 医療人の横串をお願いしたい。本町の地域福祉、包括ケアシステムはこうあるべきだというプラットフォームの場に立っていただきたい。

細田 我が町で福祉の関係から欠けているのは、中間施設がないことだ。今後どのようにするのか。

病院事業管理者 介護老人健康保健施設(老健)がないという状況なので、

議会活動日誌

4月		
日	曜日	会議・行事
5	火	広報常任委員会①
11	月	町内小学校入学式 町内中学校入学式
13	水	広報常任委員会②

5月		
日	曜日	会議・行事
9	月	公立西伯病院調査特別委員会
12	木	西部広域行政管理組合議会 ごみ処理施設等特別委員会
13	金	西部町村議会議長会連絡会 伯備新幹線整備推進会議総会
14	土	南さいはく交流拠点施設オープニングイベント
23	月	鳥取県西部広域行政管理組合議会臨時会 議会運営委員会
24	火	公立西伯病院調査特別委員会 議会改革調査特別委員会
28	土	なんぶSANチャンネル令和4年度第13期通常総会
30	月	令和4年度全国町村議会議長副議長研修会
31	火	

6月		
日	曜日	会議・行事
7	火	公立西伯病院調査特別委員会
10	金	定例議会 議会運営委員会・全員協議会・本会議
13	月	定例議会 一般質問
14	火	定例議会 一般質問
15	水	定例議会 一般質問・常任委員会
16	木	常任委員会
17	金	常任委員会
20	月	定例議会 議会運営委員会・全員協議会
21	火	定例議会 本会議
30	木	全員協議会

高齢者の暮らしを支える為にも「住まい」ということを検討していかないとはいけません。

町長 病院、議会の中で議論していただき、私が提案したい。

細田 病院が中間施設を持ち町民の暮らしを住まいを守る事が本町高齢化率を考えたら必要と思うがどうか。

病院事業管理者 本町の地域包括ケアシステムを進めていく中心的役割になるべきだと考えている。町民の皆さんから西伯病院があつて良かったと言ってもらえる病院づくりをし

ていく。介護医療院、老健、どちらが住まいのあり方とするのが良いか病院の中で改めて検討したい。

細田 町民が病気や障害で西伯病院を受診した後、どうして

も自宅に帰れない場合、これを病院で色々な施策を講じて頂きたい。そして最後まで面倒を見てもらえ

病院事業管理者 明確な構想はないが、そ

ういった機能を病院として持つことが地域の皆さんに安心して暮らせる拠点になると思い今後構想を煮詰めていく。

QRコードの読み取り方

各議員の一般質問のページの顔写真の下にQRコードを入れています。スマホかタブレットで読み取りをすると各議員の6月議会での一般質問を映像で見ることが出来ます。



Androidスマートフォン (QRコード)



Androidスマートフォン (QRコード)



謎を秘めた巨石群

てんぐう 天宮さん

メンヒル? (巨石記念物) ストーンサークル? (環状列石)



歴史探訪「天宮さん登山」 [写真提供] あいみ富有の里地域振興協議会

梅原さんと中井さんに インタビュー

Q 天宮さんとは?

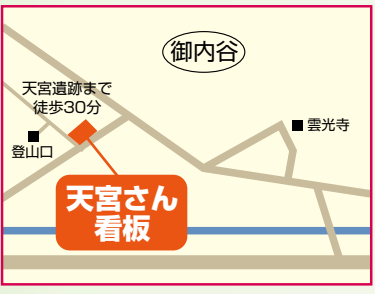
梅原さん 天宮遺跡は様々な伝説が残る謎の多い神秘的な遺跡です。この地域では、「天宮さん」として親しまれています。御内谷区では、いきいきサロンのネーミングは「サロンてんぐう」、農業法人も「天宮ファーム」です。天宮さんの名は、地域の人々の生活に溶け込み愛され続けています。

中井さん 大正末期から昭和初期にかけて、手間駅から御内谷までの間、多くの参拝者でにぎわい、麓には茶菓子やお酒を出す露店もあったと聞いています。私たちは毎年2回、登山道の整備をしながら、地域の宝として大切にしています。

町誌より 大蔵山 中腹に、「天宮さん」といわれ、古くよりあがめられてきた巨石崇拜の遺跡がある。

大正十五年、考古学会の権威であった鳥居博士の実地視察を受け、大阪毎日新聞は「巨石遺跡は学会の珍宝」として紙面を飾った。当時の賀野村では、このまま放置するのはもったいないとして、天然記念物や重要文化財の指定を文部省などに陳情している。また、多くの研究者が当地を訪れ、メンヒルやストーンサークルといった専門用語が人々の会話の中で語られるようになった。やがて支那事変、太平洋戦争へと時代が移り、かつて多くの人々にぎわったこの巨石の森は、今日、静かに眠っている。

参考文献「会見町誌」「熊野神社と比婆山天宮神社史跡について」



左から 中井さん 梅原さん

あとがき

今回から一般質問をYouTubeで見ることが出来るようになりました。

各議員の一般質問のページの顔写真の下にQRコードを入れていきます。スマホかタブレットで読み取りをすると各議員の6月議会での一般質問を映像で見ることが出来ます。

各議員の一般質問のスペースを1ページに拡げましたが、それでも全部読むことは出来ませんでした。今回からは見られます。

次の「議会だより」でアンケートを実施しようと思っています。どの年代の人が「議会だより」を読んでおられるのか、どのような意見や要望を持っておられるのか、アンケートを実施してこれからの「議会だより」発行に役立たいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。(加藤)

広報常任委員会

- 委員長 加藤 学
- 副委員長 荆尾 芳之
- 委員 景山 浩
- 板井 隆
- 白川 立真
- 長束 博信
- 米澤 陸雄
- 塔田 光雄